

試合番号 : 405		試合会場 : 西尾市総合体育館				観客数 : 2,160				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:28		試合時間 : 01:28		主審 : 北村 友香				
副審 : 吉岡 奈々		トヨタ車体クインシーズ		通算		13勝 7敗 ポイント : 39				
監督コメント	今日の試合では、第1セットから相手の硬いディフェンスの前に攻撃が機能せず、苦しい戦いだった。レギュラウンド最終戦では勝利を目指し、ファイナル8に勢いをつけて挑めるようにしていきたい。今日はホームゲームということで本当に沢山の方々に足を運んで頂き、ありがとうございます。		0	18	第1セット	25	監督コメント	デンソーのホームゲームであり、クインシーズの本拠地でもある愛知県での一戦を盛大に催して頂いた事に感謝します。組織的なトータルディフェンスが機能したことが勝利に繋がった。ファイナル8においても挑戦者として力強く戦ってまいりますので、引き続き熱い応援よろしくお願い致します。		
				20	第2セット	25				
				17	第3セット	25				
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート	愛知ダービーとなったトヨタ車体クインシーズとデンソーエアリービーズの西尾決戦は、トヨタ車体に軍配があがった。第1セット、交互に点を取り合う展開が始まった。トヨタ車体は4-5から荒木のブロックが決まり、そこから6連続得点を奪い10-5と抜け出すと、そのままこのセットを優位に進める。リズムに乗ったトヨタ車体はその後ネリマンのスパイクが決まり、このセットを先取る。第2セット、トヨタ車体はネリマンの高さのあるバフワルなスパイク、内瀬戸のライトから切れのあるスパイクなどで得点を重ねるのに対して、デンソーはシニアードのクイック、鍋谷の広角に打ち分けるスパイクなど、お互いの持ち味を發揮し終盤までシーソーゲームが続く。終盤にトヨタ車体はネリマンのスパイク2得点とサービスエース、渡邊のブロックの合計4連続得点を奪い、一気にセットポイントとすと、最後は渡邊のアンテナの幅広いプロード攻撃が決まり、このセットもトヨタ車体が連取する。第3セット、後のなくなったデンソーは大声援を受け、石田がライトからブロックの間を抜いたスパイク、鍋谷がレフトからスパイクを打ち得点を重ねていった。しかし、2セットを連取したトヨタ車体はリズムが崩れず、このセットだけで3連続得点の場面を4度も作るなど攻守がしっかり噛み合い、最後は丁寧なトスワークを続けていた山上のサーブが決まり、この試合に勝利した。									
試合番号 : 406		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,800				
開始時間 : 13:05		終了時間 : 14:37		試合時間 : 01:32		主審 : 小野 将人				
副審 : 山本 晋五		岡山シーガルズ		通算		10勝 10敗 ポイント : 30				
監督コメント	昨日のNEC戦で3セット目を勝ちきれず最終セットまで戦ったことでスタミナ不足が出てしまった。最終ホーム戦を勝利で飾りたかったが、後半に東西の上位チームとの5連戦を乗り切る体力が足りなかったことに尽きる一戦となってしまった。非常に惜しいレギュラウンドであったが、収穫も多くあったのでこれからの戦いに活かしていきたい。2日間に渡り、また長いレギュラーシーズンにおいて、たくさんのお熱いご声援、本当にありがとうございました。		0	21	第1セット	25	監督コメント	後半戦に入り絶好調の相手のホームゲームで多くの方々の前で試合が来たことに感謝しています。ありがとうございました。今日の試合は、粘り強いチームに対して粘り負けしないという準備してきた成果が出たと思います。勝因は、安定したサーブレシーブからの攻撃と、ブロックを含めたディフェンスの粘りだと思えます。こういったことは、リーグ開幕からのチームの成長と言えるでしょう。次週のレギュラウンド最終戦に全力を尽くして勝利し、ファイナル8につなげたいと思います。本日は多くのご声援ありがとうございました。		
				19	第2セット	25				
				25	第3セット	27				
					第4セット					
					第5セット					
要約レポート	ホームゲーム最終戦で勝利を飾りたい岡山シーガルズと、ファイナルラウンドに向けて勢いをつけたい埼玉上尾メディックスの戦い。第1セット、序盤から埼玉上尾がサンティアゴの連攻などでポイントを重ねリードする展開となった。岡山も佐々木の強打などで追いつき粘りを見せるも、埼玉上尾はシュシュニャルの強烈なサーブやスパイクで得点を重ね、粘る岡山を突き放し、埼玉上尾が先取した。第2セット、埼玉上尾が堀江の強打などで序盤からポイントを重ねリードする。対する岡山は途中出場の吉岡の攻撃で応戦するも、埼玉上尾の攻撃が勝利、このセットも連取した。第3セット、岡山は吉岡、吉田らの攻撃で、対する埼玉上尾は井上、丸山らの攻撃で互いに譲らない展開となる。セットを落とせない岡山は、吉田のブロックを巧みに利用した攻撃などで粘りを見せたが、最後はシュシュニャルが連続でスパイクを決め、このセットも埼玉上尾が奪い、ストレートで勝利した。									
試合番号 : 407		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,200				
開始時間 : 16:05		終了時間 : 18:05		試合時間 : 02:00		主審 : 種元 桂子				
副審 : 浅井 唯由		NECレッドロケッツ		通算		11勝 9敗 ポイント : 35				
監督コメント	まず、勝ち点3獲得できたことを喜びたい。レギュラウンド最終戦ということもあり、チーム全体として硬さがあつたと感じる。セット序盤に自分達のミスでバタバタするケースが多かったので、次の試合までに修正したい。今日も含めレギュラウンドの戦いに対して、たくさんのお熱い声援ありがとうございました。ファイナル8でもNECレッドロケッツらしいプレーを皆様にお見せできる様、しっかり準備していきますので、引き続き応援よろしくお願い致します。		3	25	第1セット	22	監督コメント	KUROBEアクアフェアリーズ	通算	2勝 18敗 ポイント : 7
				25	第2セット	18			レギュラーシーズン最終戦。チャレンジステージにつなげる為にも、とても大切な位置づけと考え試合に臨みました。メンバー全員がモチベーションを高く保ち、1セット目からリズムを作って戦うことが出来たが、NECレッドロケッツの高さと速さのある攻撃に押され、3セット目を取るのが精一杯でした。レギュラーシーズンの課題を克服、準備し、順位決定リーグに臨みたいと思えます。今後ともご声援よろしくお願い致します。	
				24	第3セット	26				
				25	第4セット	23				
					第5セット					
要約レポート	NECレッドロケッツ、KUROBEアクアフェアリーズ、両チームにとってV・レギュラウンド最終戦。第1セット、KUROBEは平谷のスパイク、雪丸のサービスエースでペースを掴むが、NECは中盤から、大野のブロック、柳田のサービスエースで逆転すると、要所で古賀のスパイクが決まり、セットを先取した。第2セット、序盤は一進一退の展開となるが、NECは島村のスパイク、ブロックで効果的に得点し、最後は山内のスパイクが決まり、セットを連取した。第3セット、後がないKUROBEはアルブレヒト、浮島のスパイクでリードを広げる。NECは柳田、山内のスパイクで追いつけるが、KUROBE浮島、丸山のブロックが決まると、さらに平谷、和才のスパイクで逃げ切り、セットを奪った。第4セット、再び序盤から接戦となるが、NECは、KUROBEアルブレヒトのスパイクをレシーブすると、そこから切り返し、島村、大野のスパイクで得点する。最後は古賀が連続得点し、セットカウント3-1でNECが勝利を納めた。									
試合番号 : 408		試合会場 : 愛媛県武道館				観客数 : 2,277				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:06		試合時間 : 02:06		主審 : 国頭 良太				
副審 : 千代延 靖夫		東レアローズ		通算		13勝 7敗 ポイント : 37				
監督コメント	今日のゲームは思うようなプレーをさせてくれませんでした。前回苦戦した相手なので苦しい展開を予想し、粘り強くバレーをしていこうと全員で共有し、ゲームに臨みました。第1、第2セットはオフェンスが通用せず、アタックミスが出てしまったことでセットを奪われました。それでも勝ちきれぬ粘りが出たことはファイナル8に向けて良い経験になりました。たくさんのお応援をありがとうございました。		3	23	第1セット	25	監督コメント	PFUブルーキャッツ	通算	0勝 19敗 ポイント : 3
				23	第2セット	25			前半、自分たちのサーブが機能して相手のサーブレシーブを崩し、点数を取ってリズムに乗りプレーすることができた。中盤以降、ボールを上手く繋げられず、連携が乱れてしまった。後半は相手のレフト攻撃に対するディフェンスが上手くいかず、勝ちきれぬ粘りが出来なかった。残り1試合、自分たちの戦いをして勝ちに繋げられるよう頑張りたい。本日も応援頂き、ありがとうございました。	
				25	第3セット	11				
				25	第4セット	21				
				15	第5セット	9				
要約レポート	ホームゲームにてファイナル8進出を決め、更に3位進出を目指す東レアローズと、一つでも勝ち点を上げたいPFUブルーキャッツの戦い。第1セット、序盤から両者互いに譲らない展開であったが、PFUが清水のアタックでリードする。その後、PFUを追う展開となった東はクランにトスを集め、23-24まで追いつくが、PFUチャッチュオンの活躍でPFUが先取る。第2セット、PFU江畑とドリスの活躍でリードする。東は黒後にトスを集め、流れを変えようとする。しかしPFU秋山の連続サービスエースで流れを渡さない。後半、東は堀川をコートに送りライトからの攻撃で巻き返しを図るが、PFUが逃げ切る。第3セット、後がない東は、クランのアタックで8-2とリードする。その後東はクランと堀川のアタックで16-5とリードを広げる。PFU秋山の活躍で追いつけるも、東は大野のブロックでリードを保ち、第3セットを東しが取り返す。第4セット、再びシーソーゲームの展開が続く。PFUチャッチュオンのアタックで流れを作り、更に清水の連続ブロックポイントでリードする。しかし終盤に東は大野のブロックとクランのアタックでセットを取り、2-2のタイに戻す。第5セット、東しがクランにトスを集め、8-4とリードする。更に堀川の活躍でセットを奪い、3-2で接戦の試合をものにした。									

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 783		試合会場 : 柏市中央体育館				観客数 : 530				
開始時間 : 10:00		終了時間 : 11:13		試合時間 : 01:13		主審 : 津嶋 由香		副審 : 小笠原 孝文		
大野石油広島オイラーズ		通算 8勝 9敗 ポイント : 23		15 第1セット 25		ヴィクトリーナ姫路		通算 16勝 1敗 ポイント : 49		
監督コメント	サーブレシーブを崩され、自分たちのバレーができなかった。逆にサーブが弱く、相手の攻撃をブロック、レシーブできなかった。まだファイナル6へ向けてあと1試合頑張りたいと思います。たくさんのご声援ありがとうございました。			0	17 第2セット 25		3	本日は、朝早くいつもとは違って調整が難しいゲームだったが、第1セットの出だしからしっかり集中して臨むことができた。第2セット、第3セットの出だしと中盤では、自分たちのミスから始まる連続失点が多かった。良いときもあれば悪いときもあるので、悪いときにどれだけ頑張れるかしっかりチームの中で修正し、来週の試合につなげていきたいと思います。本日も応援ありがとうございました。		
					20 第3セット 25					
要約レポート										
首位を走るヴィクトリーナ姫路とファイナル6進出のために負けられない戦いが続く大野石油広島オイラーズとの一戦。第1セット、姫路スエシのスパイクに対して、大野石油は藤田と土岡の好レシーブと素晴らしいラリーが展開される。スエシのサービスエース、浅津のスパイクで姫路がリードを広げる。途中大野石油・吉里のスパイク、斎藤のサービスエースで点数を重ねるも、浅津のブロック、貞包のスパイクで終始リードを重ねた姫路が第1セットを制した。第2セット序盤、スエシ、浅津、貞包のスパイクを大野石油は粘り強いレシーブから吉里、馬渡がスパイクを決定するなど一進一退の攻防となる。途中大野石油・北川のブロックで一時的に大野石油が中盤までリードするものの、姫路大元と吉岡のセンター線のブロックが機能し、セカンドテクニカルタイムアウト以降は姫路がリードを奪う。お互いに素晴らしいラリーが展開された第2セットの最後は浅津のスパイクで姫路が制した。駆け付けたファンのためにも勝利したい大野石油は、谷岡、佐藤のスパイクで先行する展開となる。対する姫路は途中出場の中野のスパイク、大元のサービスエースで大野石油に勢いを渡さない。終盤まで両チームエースの打ち合いが続く第3セットの終盤に、姫路は貞包、浅津のスパイクで逆転。最後は貞包のブロックが決まりストレートで姫路が勝利した。										

試合番号 : 784		試合会場 : 柏市中央体育館				観客数 : 480				
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:42		試合時間 : 01:42		主審 : 小瀧 健二		副審 : 小田川 倫之		
ブレス浜松		通算 7勝 10敗 ポイント : 21		15 第1セット 25		GSS東京サンビームズ		通算 9勝 8敗 ポイント : 28		
監督コメント	絶対に勝ちたかった試合ですが、攻守ともに裏目裏目に展開し、選手たちの頑張りを結果につなげることができませんでした。レギュラーラウンド残り1試合となりましたが、最後までベストプレーを発揮できるよう頑張っていました。本日も寒い中、遠路柏までたくさんの方々に応援をありがとうございました。大変ありがとうございました。			1	18 第2セット 25		3	連敗が続いたので今日のゲームに臨む選手には並々ならぬ気持ちがあったと思います。具体的には申し上げられませんが、考えたことが各セットともに実現できたと思います。次週はいよいよ最終戦となりましたので、チームの力を結集して勝ち点を獲りに行きたいと思えます。今日もたくさんのご声援をいただきまして誠にありがとうございました。		
					25 第3セット 17					
					14 第4セット 25					
要約レポート										
ファイナル6に向けて、お互い負けが許されないGSS東京サンビームズ対ブレス浜松との一戦。第1セット、GSS東京の鬼塚、天澤、ブレス浜松の多田、和田のスパイクが輝き、序盤から攻め合い、中盤まではお互い全く譲らないシーソーゲームとなった。色摩のサービスエースからGSS東京が流れを一気に引き寄せ、最後は、天澤のスパイクが決まり、第1セットを制した。第2セット、第1セットの流れをそのままにGSS東京が序盤リードするも、ブレス浜松も流れを取り戻そうと、水上のサービスエースなどで食らいつく。突き放しにかかるGSS東京は色摩にボールを集め、相手のレシーブを崩し、コンビバレーを展開し、第2セットを制した。第3セット、駆け付けたファンのために何としてもセットを奪いたいブレス浜松。水上のスパイクがスタートから冴え渡り、リズムを作り出すとレシーブやブロックも機能し始めた。最後は、和田の強烈なスパイクが決まり、セットを奪取した。第4セット、色摩の気持ちの入ったスパイクでチームに喝を入れるとGSS東京は息を吹き返す。三浦の好レシーブ、松浦の素早く正確なトス回し、賀谷の高い打点のスパイクやブロックなどにより、リズムを取り戻すとこのまま押し切り、GSS東京が見事勝利を収めた。										

試合番号 : 785		試合会場 : 柏市中央体育館				観客数 : 720				
開始時間 : 14:25		終了時間 : 15:45		試合時間 : 01:20		主審 : 小松 剛		副審 : 藤原 信一		
柏エンゼルクロス		通算 6勝 11敗 ポイント : 21		25 第1セット 22		群馬銀行グリーンウイングス		通算 13勝 4敗 ポイント : 36		
監督コメント	昨日のゲームからしっかり切り替えをしてスタートから入っていった。中盤も苦しい場面があったが、よく我慢して流れを引き戻すことができた。来週も良い結果が出せるよう、もう一度しっかり準備します。本日も応援、本当にありがとうございました。			3	25 第2セット 22		0	本日のゲーム、スタート時こそ予想できた範囲で攻撃が決まったものの、最終的には両サイドの攻撃を完全に封じられたことが大きな敗因。また、ディフェンスにおいても相手の多彩な攻撃に対応できず、まさに完敗という内容のゲームであった。ファイナル6での戦いに向け、残りの1試合を充実した内容にできるように、気持ちを切り替え、また明日から努力していきたい。本日も応援ありがとうございました。		
					25 第3セット 22					
要約レポート										
群馬銀行グリーンウイングスとホームゲーム最終戦を勝利で飾りたい柏エンゼルクロスとの一戦。第1セット、序盤からどちらも譲らずシーソーゲームで試合が展開した。中盤、流れを作りたい柏は田中にトスを集め攻撃をしかけるも、群馬銀行は粘り強くレシーブをし、終盤までシーソーゲーム状態の中、柏のキャプテン田中と木村が強烈なスパイクを決め、第1セットを先取した。第2セットも序盤から両チームとも力強いスパイクに対してレシーブで粘りを見せる一進一退の攻防が繰り返された。中盤、群馬銀行・愛宕のサービスエースから流れができたかのように見えたが、柏・木村のスパイクが決まり柏に流れができた。接戦の中、終盤に入り田中と山本の緩急のあるスパイクが決まり、柏が接戦を制した。第3セット、波に乗った柏は田中、小清水のスパイクで序盤から得点を重ねる。負けられない群馬銀行は、鈴木のブロックで応酬するも、柏のセッター名原が巧みにトスを振り分け山本、木村の攻撃を取り入れ点数を重ねる。最後は柏・名原のブロックで試合を締めくくり、ホームゲーム最終戦を勝利した。										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット				通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント				第2セット					
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									